

居場所づくりセミナーのお知らせ

何かに悩んだり、苦しんでいるとき、「誰かに話を聞いてほしい」と思いながら、地域で孤立感を感じて暮らす方がいます。そのような方々が安心して人とかかわったり、ゆったりと過ごすのが「居場所」です。保健課では「居場所づくり」を支援しています。

この講座では、悩みを抱えている人へのかかわり方や、居心地のよい「居場所づくり」について、また大仙市にある引きこもりの方の居場所「ふらっと」の活動の様子をお伝えします。

あなたも、悩んでいる方々のちょっとしたちからになってみませんか？全2回の講座です。

(1回目)

日時：2月19日(月) 14:00～15:30

講師：公認心理師・臨床心理士 濱田 拓 氏

(2回目)

日時：3月12日(火) 14:00～16:00

講師：秋田大学大学院医学系研究科助教 / 特定非営利活動法人光希屋(家)代表 ロザリン・ヨン氏、「ふらっと」の方々

★両日とも、受付時間は13:30～13:50、会場は角館庁舎101・102会議室

★2月13日(火)までに電話でお申し込みください。

★1日のみのご参加でも構いません。2日間参加された方には修了証をお渡しします。

問合せ／仙北市保健課 ☎43-2252

みなさんもオレンジカフェにいらっしゃいませんか♪

仙北市内では、5か所でオレンジカフェ(総称)が毎月1回開催されています。

オレンジカフェは、厚生労働省が進めている認知症施策の一つで、**認知症の方やその家族、地域の人など誰でも気軽に集い、交流することのできる集いの場です。**認知症に関する相談にも応じることができますので、気軽に参加してスタッフに声をかけてください。

● オレンジカフェのお手伝いについて

認知症サポーターやキャラバンメイト、仙北地域かがやき隊の皆さまで、カフェのお手伝いを希望される方は、包括支援センターまでご連絡ください。感染症の状況によりお休みする場合があります。詳細については直接カフェにお問い合わせください。

2月の日程 感染症の状況により、開催を休止する場合があります。詳細については、直接お問い合わせください。

カフェの名称	代表者	場所	連絡先	開催日	時間	個人負担
包和花カフェ	包括支援センター	ワンダーモール	43-2283	2月15日(木)	10:00～15:00	なし
土曜の茶っこカフェ	佐々木恵	上滝沢会館	080-6032-7527	2月17日(土)	13:30～15:30	100円
ささえ愛カフェ	清水佳奈子	デイサービスセンターささえ愛	42-8666	2月18日(日)	9:30～11:30	100円
下延オレンジカフェの会	藤原律子	下延住民センター	55-5449	2月20日(火)	14:00～16:00	100円
こみっとカフェ	松館文子	NPO法人かじか瀬スペース	080-3198-4136	2月21日(水)	10:00～12:00	300円(初回の方は事前連絡必要)
オレンジカフェひまわり	長澤早恵	グループホームひまわり地域交流室	55-5272	2月24日(土)	14:00～16:00	100円

※今月は包和花カフェ(仙北市包括支援センター直営)も開催されます。

問合せ／仙北市包括支援センター ☎43-2283

あなたの相談を親身に受け止めます！

公認心理師・臨床心理士

こころの相談

問合せ／仙北市保健課 ☎43-2252

角館庁舎 ▶ 2月8日(木)・15日(木) (午前のみ)・22日(木)・29日(木) (午前のみ)

田沢湖健康増進センター(田沢湖病院併設) ▶ 2月21日(木) (午後のみ)

西木総合開発センター(中央公民館) ▶ 3月12日(木) (午前のみ)

相談時間 午前 / ①10:00～ ②11:00～ 午後 / ③13:30～ ④14:30～

相談方法 相談方法：1回50分 秘密厳守 面談または電話(要予約・相談無料) / 連絡先：保健課

病気や健康、家族問題、からだやこころの悩み、人間関係、仕事や生活の不安、子育て、近隣関係など、ひとりで悩まないで声を出してみませんか。話せるところから、ゆっくり話してみませんか。

だれかに話をすると安心する

傾聴ボランティア えくぼの会

開催日：2月21日(木) 時間 10:00～14:00

場所 角館交流センター (※参加無料)

心にたまったことや、気になること、心配なことなどを話してみませんか。傾聴ボランティア「えくぼの会」では、ゆっくりお茶を飲みながら、会員が悩みなどをお伺いして、一緒に考えていきます。開催時間内の都合のよいときにお気軽にお越しください。

語って、笑って、ホッと一息

えがおサロン ※2月は休止!

相談は秘密厳守です



開催日：3月6日(木) (参加費100円/予約不要)

場所 田沢湖健康増進センター(田沢湖病院併設) 交流プラザ
内容 血圧測定、健康講話(保健師)、脳トレ、手芸など

「えくぼの会」では、毎月サロンを開催し個人の悩みや相談に応じています。お茶やコーヒーを飲んだり、語って笑ってホッとできるスペースです。予約なしで、どなたでも好きな時間に参加できます。ぜひ、お立ち寄りください。

傾聴ボランティア・集いの場 **かだれ!** 楽しく一緒にすごしてみませんか♪

開催日：2月14日(木)・28日(木) 時間 10:00～15:00

場所 田沢湖健康増進センター(田沢湖病院併設) 調理室・栄養相談室 参加費 100円(昼食は各自でご持参ください)

内容 ▶保健師による血圧測定、健康相談、認知症予防体操、ゲームなど

相談 ▶心理カウンセラー(相談無料/秘密厳守) 連絡先：小松まで ☎090-2975-3450

一緒にお茶を飲んだり、認知症予防ゲームを楽しんだり、やりたいことをやりましょう!開催時間内に個別にお話(相談)をお聴きします。

今、私たちが取り組んでいるのは、集まった人たちで互いの「安否確認や困ったときに、駆け付けられる体制づくり」を進めています。「かだれ!」は、皆さんのお越しをこころからお待ちしています!

笑いの会 笑いヨガで、心も・体も・脳も健康に!

開催日：2月16日(木) ※事前申込不要 受付 9:40～10:00 ～11:30終了

場所 健康管理センター(角館) ※参加無料

笑うことは心身ともに安定し、ストレス軽減に効果があると言われています。皆さまぜひご参加ください。

問合せ／仙北市保健課 ☎43-2252

若者同士で交流しましょう! **若者の居場所** ※こころの重荷を下ろす場所♪

開催日：2月20日(木) 場所 角館交流センター(和室) ※無料/予約不要 時間 14:00～16:00

辛い、苦しい、不安、眠れない、家にいても居心地が悪い、社会の中で生きづらいつと感じているすべての若者が対象です。一緒にお茶を飲んだりおやつを食べたり、ちょっとしたゲームをしながら若者同士で交流しましょう。ぜひ、ひとりで抱え込まずに、まずは足を運んで下さい。お待ちしております。

問合せ／NPO法人KOU 大屋みはる ☎018-853-4367

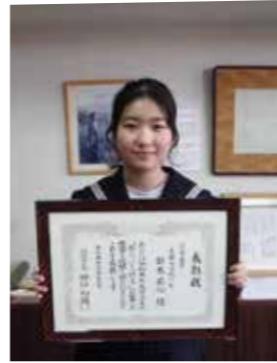
主催 NPO法人KOU(あきた若者サポートステーション運営団体)

税についての作文

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催、仙北市共催で募集していた中学生の「税についての作文」で、鈴木莉心さん（角館中1年）の作品「自分のために、だれかのために」が仙北市長賞を受賞しましたので、全文（原文のまま）をご紹介します。また、千葉美空さん（生保内中2年）が大曲税務署長賞、荒木田岳さん（生保内中3年）が大曲地区税務団体協議会会長賞をそれぞれ受賞しました。

私の祖母は去年の今頃、ガンで入院をくり返していた。コロナウイルスもあり、面会は母だけが許されていたが、テレビ電話で祖母のかく字を一生懸命に読んでいた。早く元気になるまで帰ってくるからねという約束は果たされず、母は亡くなってしまった。大好きだった祖母は、私が生まれてから十二年ずっとガンと戦ってきた。共働きの両親に代わり保育園の送迎いや、おいしいご飯をつくっていつも一緒に居てくれた。そんな祖母が病院へ通院している時、治療をするために入院したり、その費用は莫大な金額だったと思う。私はこの春、中学生になった。税に関する勉強をし、いろいろな税金の種類があることや、どんなことに使われているのかと調べてみた。その中で高額になった医療費を取り戻せる「医療費控除」というしくみを知った。医療費控除とは、負担した医療費が、一年間で合計十万円以上になった場合、所得税が軽減されて税金が戻ってくるのだ。確定申告で手続きを行えば、税金が還付される形で、支払った医療費の一部が戻ってくるのだという。また、自己負担限度額を超える医療費を支払った場合、申請することで、その超えた部分を支払い戻す「高額療養費」という仕組みがあることも知った。この二つの仕組みは、多額の医療費を支払った場合の負担を軽減するためのものだ。祖母もこの制度を利用していただくと聞いた。みんな

仙北市長賞



鈴木莉心さん
(角館中1年)

「自分のために、だれかのために」

私の祖母は去年の今頃、ガンで入院をくり返していた。コロナウイルスもあり、面会は母だけが許されていたが、テレビ電話で祖母のかく字を一生懸命に読んでいた。早く元気になるまで帰ってくるからねという約束は果たされず、母は亡くなってしまった。大好きだった祖母は、私が生まれてから十二年ずっとガンと戦ってきた。共働きの両親に代わり保育園の送迎いや、おいしいご飯をつくっていつも一緒に居てくれた。そんな祖母が病院へ通院している時、治療をするために入院したり、その費用は莫大な金額だったと思う。私はこの春、中学生になった。税に関する勉強をし、いろいろな税金の種類があることや、どんなことに使われているのかと調べてみた。その中で高額になった医療費を取り戻せる「医療費控除」というしくみを知った。医療費控除とは、負担した医療費が、一年間で合計十万円以上になった場合、所得税が軽減されて税金が戻ってくるのだ。確定申告で手続きを行えば、税金が還付される形で、支払った医療費の一部が戻ってくるのだという。また、自己負担限度額を超える医療費を支払った場合、申請することで、その超えた部分を支払い戻す「高額療養費」という仕組みがあることも知った。この二つの仕組みは、多額の医療費を支払った場合の負担を軽減するためのものだ。祖母もこの制度を利用していただくと聞いた。みんな

仙北市主催で募集していた小学生の「税に関する習字」で、受賞した方を次のおりご紹介いたします。

最優秀賞

◆八柳和華（角館小6年）

※氏名の表記は原文のまま掲載しています。（敬称略）

- ◆ **金賞** 永山明佳里（角館小2年）
- ◆ 坂本結愛（生保内小4年）
- ◆ 米澤美月（角館小6年）
- ◆ **銀賞** さいとゆきか（角館小2年）
- ◆ 齋藤こみ（角館小4年）
- ◆ 畠山芽依（西明寺小6年）
- ◆ **銅賞** もりえいと（角館小2年）
- ◆ 宮さき快仁（角館小2年）
- ◆ 小松りん（角館小3年）
- ◆ 藤原美羽（生保内小4年）
- ◆ 小松楓（角館小5年）
- ◆ 佐藤妃那（角館小6年）

税

に関する習字

入選おめでとうございます

なが税金を納めてくれたことよって祖母は、病院で治療を受け、私と妹が自分のことを一人でできる年れいまで生きてくれた。本当に感謝している。もしも税金がなかったらこの制度もなかったら。そうすると、全額自己負担となり、治療を受けられず亡くなる人も増えるだろう。私も祖母との楽しい思い出もなかったらと思うと、税金の大切さや、税金で誰かの命や生活が守られるということがどれだけ大切なことが分かった。人は一人では生きられない。家族や友達、学校の先生、近所のお年寄りや小さな子ども、自分や自分以外の誰かの役に立っている税金は、一人一人がよりよい未来を作っていくための貯金と考えるべきではないかと思う。

新しい民生委員・児童委員を紹介します

令和5年12月22日付けで、厚生労働大臣から次の方へ委嘱状が交付されました。地域福祉の向上のため活動する民生委員・児童委員を紹介します。お気軽に、ご相談ください。



田口佳信さん
☎ 43-1215

駅前、宿北、宿南の一部、浮世団地、横町の一部地区担当



草薨講成さん
☎ 55-2053

下花園上・下地区担当



藤村浩美さん
☎ 55-5675

小勝田下川原、小勝田中川原中央地区担当



むし歯のなかった子どもたち

3歳6か月児歯科健診（令和5年6月～12月実施）

この健診期間でむし歯のなかった子どもは44人中41人（93.2%）でした。

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 青山 重心くん | 浅利 知花ちゃん | 阿部 朝陽くん | 伊藤 孝斗くん |
| 伊藤 結桜ちゃん | 門脇 礼旺くん | 菊地 奈那星ちゃん | 木元 奈菜美ちゃん |
| 工藤 心結ちゃん | 倉橋 蘭ちゃん | 小林 はるちゃん | 佐々木 湊ちゃん |
| 佐々木 雄士くん | 佐藤 朱莉ちゃん | 佐藤 すみれちゃん | 佐藤 萌凧ちゃん |
| 佐藤 百葉ちゃん | 佐藤 凜叶ちゃん | 佐藤 蓮哉くん | 進藤 陽飛くん |
| 神馬 李生くん | 菅原 悠斗くん | 鈴木 虹晴ちゃん | 鈴木 大獅くん |
| 高橋 乙葉ちゃん | 高橋 澄恋ちゃん | 鈴木 結月ちゃん | 田口 莉徠くん |
| 辻 菜白ちゃん | 中島 吉颯くん | 中村 駿太くん | 中本 綺湖ちゃん |
| 畠山 陽斗くん | 羽根川 柊成くん | 羽根川 迅くん | 伏見 怜桜ちゃん |
| 藤村 桜士朗くん | 藤原 柊輝くん | 松橋 里奈ちゃん | 武藤 詩奈ちゃん |
| 吉田 帆華ちゃん | | | |

（五十音順）※了承をいただいたお子さんのみ掲載しています。

健康な歯を守るためには家族で正しい歯みがき習慣を！

《3～6歳頃のむし歯予防のポイント》

- ①自分でみがく練習と夜寝る前の仕上げみがきの習慣をつけましょう。寝ている間は口が乾燥し、むし歯菌が繁殖しやすい時間です。
 - ②乳歯が抜けたり、永久歯が生え始めたりして段差ができます。歯ブラシを縦にして上下に細かく動かしてみがきましょう。
 - ③定期的な歯科医院でのプロフェッショナルケアとフッ化物塗布で歯を強化しましょう。
- ※ 仕上げみがきの時にお子さんの口の中をよく見て、むし歯ができてしまったら早めに治療しましょう。

問合せ／仙北市保健課 ☎ 43-2252

フレイル総合講座パート2 ～コグニサイズで体も頭もスッキリ！～

コグニサイズを取り入れた「フレイル総合講座パート2」を開催します。昨年度参加された方からは、「コグニサイズは頭と体の運動、大変良かったです」という感想が聞かれました。物忘れが多くなった、運動不足だな、と感じている方にお勧めです。みんなで動いてたくさん笑って体も頭もスッキリしましょう！

コグニサイズって？

軽い運動と認知機能（計算やしりとりなど）を組み合わせたエクササイズのことです。軽い運動と計算など2つの課題を同時に行うことで脳への刺激を促し、認知機能の低下の予防につながります！

- ▶ **対象者**／65歳以上85歳以下の方
- ▶ **講師**／秋田大学教員「チームオレンジ☆」の皆さま
- ▶ **日程**／①2月27日(火)（看護学講座 講師：助教 藤田智恵氏）②3月11日(月)（理学療法学講座 講師：准教授 上村佐知子氏）③3月19日(火)（作業療法学講座 講師：助教 津軽谷恵氏）
- ▶ **場所**／健康管理センター（角館庁舎隣り）

- ▶ **受付**／13:00～13:20（15:00終了）
- ▶ **持ち物**／市民生活課で配布している青色袋と水色ファイル（お持ちの方）、運動しやすい服装、水分
- ▶ **申込期限**／2月20日(火)

申込・問合せ／
仙北市民生活課 国民健康保険係 ☎ 43-3316

市民の生命と財産を守るため 決意をあらたに

仙北市消防出初式

1月6日、仙北市消防出初式が仙北市市民会館で開催され、団員や関係者などおよそ250人が参加しました。式典に先立ち、市民会館前の駐車場で行われた観閲式や分列行進は、新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりに開催され、団員が力強く行進しました。



式典で田口知明市長は「昨年は記録的な大雨、猛暑に見舞われた。市内各地で土砂災害や河川の氾濫など大きな被害があり、消防団員の皆さんには危険が潜むなかパトロールや土のう積みなど、被害拡大防止の活動や避難所での支援にご尽力いただき感謝申し上げます。能登半島地震のような大地震が、いつどこで発生するかわからない現状を真摯に受け止め、日頃から危機管理体制を万全に整えておく必要を改めて痛感している。団員の皆さんには市民と市民生活を守る消防精神を堅持し、一層のご尽力をお願いする」と式辞を述べました。

佐藤乃三仙北市消防団長は「災害現場にいち早く駆けつけたことにより人的被害がなかった。災害時はいち早く駆けつけ、自らの安全を確保しつつ、人命を最優先に活動してくれることを願う」と訓示を述べました。

表彰受章者（敬称略／所属）

〈秋田県知事表彰〉

【有功章】

- ▼佐藤豊紀（第8分団）▼島山弘美（第3分団）▼三浦誠（第3分団）▼鈴木泰昌（第9分団）▼辻晴美（第9分団）▼伊藤時秀（第9分団）

【永年勤続功労章（40年以上勤続）】

- ▼青柳和美（第9分団）

【永年勤続章（35年以上勤続）】

- ▼下田忠浩（本部）▼本田清治（第10分団）▼戸村正光（第3分団）▼柳屋幸一（第1分団）▼鈴木浩一（第9分団）▼細井新一郎（第10分団）

【永年勤続章（30年以上勤続）】

- ▼稲田明（第2分団）▼伊藤幸二（第4分団）▼武藤敏文（第6分団）▼小松秀則（第7分団）▼高橋和浩（第8分団）▼佐藤泰人（第4分団）▼蘭藤道雄（第5分団）▼門脇篤美（第6分団）▼蘭藤幸順（第5分団）▼高橋文太郎（第8分団）▼鈴木武彦（第2分団）▼高橋均（第3分団）▼古郡和衛（第4分団）▼高村操（第8分団）

【永年勤続章（25年以上勤続）】

- ▼齋藤隆志（第5分団）▼浦山力（第1分団）▼阿部幸喜（第5分団）▼佐々木道敏（第5分団）▼佐藤一也（第8分団）▼工藤勝博（第2分団）▼門脇尚徳（第5分団）▼林崎和幸（第9分団）

- 田村勉（第3分団）▼三浦光洋（第4分団）▼村上純男（第4分団）▼佐藤治栄（第4分団）▼伊藤雅人（第4分団）▼小松正（第7分団）▼伊藤一紀（第9分団）▼青山大輔（第10分団）

【無火災分団（1年間無火災）】

- ▼第1分団▼第2分団▼第3分団▼第5分団▼第9分団

【優良分団】

- ▼第8分団（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 規律訓練の部優勝）▼第4分団（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 小型ポンプ操法の部準優勝）▼第10分団（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 小型ポンプ操法の部第3位・規律訓練の部第3位）

【感謝状】

- ▼元団長 渡辺勇悦 ▼元分団長 草薨晃 ▼元分団長 櫻田英喜 ▼元副分団長 若松昌樹 ▼元副分団長 永山明 ▼元副分団長 地主昭仁

〈秋田県消防協会長表彰〉

【功労章（30年以上勤続で日本消防協会功績及び貢献を受けていない団員）】

- ▼中沢忠春（第9分団）▼古郡和衛（第4分団）▼山田勝弘（第9分団）▼鈴木貴也（第9分団）▼藤村香織（本部）▼遠藤昭人（第4分団）▼佐々木秀暢（第4分団）▼佐藤慶祐（第5分団）▼荒川光典（第7分団）

子どもたちに地元の仕事を体験してもらう

仙北市おしごと体験キッズマルシェ

12月16日、角館交流センターで、子どもたちに地元の仕事を体験してもらう「おしごと体験キッズマルシェ」が開催されました。

このイベントは、秋田県が実施する「未来をつくるロカジョサークル応援事業※」の一環で、仙北市に居住、またはゆかりのある女性の方たちが「仙北市にはどのような仕事があるのか知るとともに、将来の職業選択の幅を広げる



会場につくられたブースで、実際に仕事を体験する様子。



←おしごと体験キッズマルシェの様子は、こちらからご覧いただけます。

※ロカジョとは、地域（ローカル）で活躍する女性を呼称する造語で、ロカジョサークル応援事業は女性の地域づくりへの参画の推進を目的としています。

（百寿）おめでとう

西宮キミさん

1月1日、西宮キミさん（西木町上荒井）が100歳の誕生日を迎えられ、5日に仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



キミさんにお祝いと花束が手渡されました。

高橋榮子さん

1月17日、高橋榮子さん（角館町菅沢）が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



榮子さんにお祝いと花束が手渡されました。

調理師法施行65周年記念全国大会

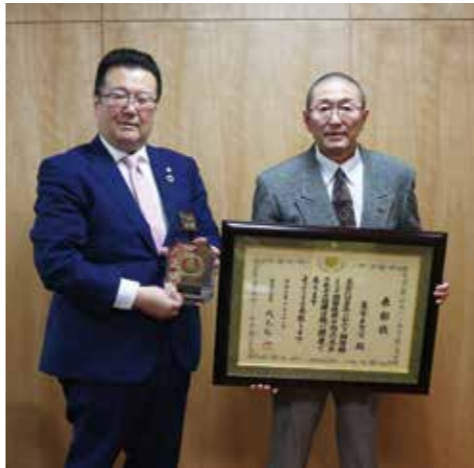
星宮多賀司さん

厚生労働大臣表彰

12月14日、調理師歴52年の星宮多賀司さんが市役所角館庁舎を訪れ、田口市長へ厚生労働大臣表彰の受賞を報告しました。

この調理業務功労者表彰は、調理師免許を有し、常に第一線で実際の調理業務に従事し、かつ指導的立場から調理技術の発展および調理師の資質向上に顕著な功績があった個人を表彰するもので、秋田県からは星宮さんが唯一の受賞となりました。

星宮さんは、11月28日に東京都の明治記念館で行われた調理師法施行65周年記念全国大会に出席したことを報告。中里温泉で料理長として活躍されているほか、大曲農業高等学校でボランティアによる技術指導を行っていて「学生のころから興味を持って、くれないと難しく、ここに残ってほしい」と話し、人材育成などにも取り組まれています。



田口市長へ受賞を報告した星宮多賀司さん（右）。

秋田県職業能力開発促進大会

荒川慶太郎さん

秋田県優良技能者表彰

12月15日、榊細工の荒川慶太郎さんが市役所田沢湖庁舎を訪れ、田口市長へ秋田県優良技能者表彰の受賞を報告しました。

この表彰は、技能者の社会的地位と技能水準の向上を図ることを目的に、県内の優良技能者を表彰するもので、県内で4人が表彰されました。

荒川さんは、榊細工の伝統工芸士に認定されており、熟練の技術により素材の性質や状態の変化を見極めながら、細部にこだわった製品を一貫して手作りし、多数の受賞歴のほか、技能の継承や魅力の発信に寄与されていることが認められました。

報告に訪れた荒川さんは「榊細工の業界は30年近くですが、この業界ではまだ若手。若手の後継者育成も必要となっている。榊細工は、どうしても茶筒のイメージが大きく、茶筒に代わる次のものにスライドし、生活スタイルにマッチしたものに改革することができれば、もっと喜ばれる」と話しました。



田口市長へ受賞を報告した荒川慶太郎さん（右）。

第21回あきたふるさと手作りCM大賞

大賞に次ぐ秋田銀行賞受賞

秋田朝日放送株式会社が主催する「第21回あきたふるさと手作りCM大賞」で、仙北市の作品「歴史が息づく町仙北市」が、大賞に次ぐ秋田銀行賞を受賞しました。

この取り組みは、地元の魅力や県内外へ発信することを目的に開催されているもので、仙北市では公募したなかから大沢紀仁さん（田沢湖生保内）に撮影と編集を依頼して参加しました。

12月27日には、市役所田沢湖庁舎で伝達式が行われ、秋田朝日放送株式会社の樋口敦史取締役から、制作した大沢さんにトロフィーと、田口市長へ副賞の目録が手渡されました。

今回受賞したCMは副賞として、本年12月末まで100本のCMが秋田朝日放送において放送されるほか、AABホームページ、YouTubeのAAB公式チャンネルで公開されていますので、ぜひご覧ください。



左から、秋田朝日放送株式会社の樋口取締役、制作した大沢さん、田口市長。

←大沢さんが制作したCM「歴史が息づく町仙北市」はこちらからご覧いただけます。



東北大会出場へ意気込み

FC角館セレジエスタJr

小学5年生以下のチームがサッカーの全県一を目指す第35回トヨタジュニアカップに出場したFC角館セレジエスタJrの選手と監督が、12月22日に市役所角館庁舎を訪れ、田口市長と須田教育長へ3位入賞を報告しました。



この大会には、県北、中央、県南の各地区予選を勝ち抜いた32チームが出場。角館セレジエスタJrは準決勝で優勝したフラウブリッツ秋田に敗戦したもののその後に行われた3位決定戦でニカホに2対1で勝利し、3月に宮城県で開催される東北大会への出場権を獲得しました。

報告に訪れた菅原大末監督は「東北大会は強豪チームが多い。試合を通じて成長する子どもたちの姿を見ることが楽しみ」と話しました。



試合前に行っている陣陣に、田口市長と須田教育長も加わりました。

非行防止・健全育成標語入賞作品

仙北地区少年保護育成委員会は、非行防止・健全育成を目的に標語を募集したところ608点の作品が集まり、各部門の入賞作品は次のとおり決定しました。※敬称略

小学校の部 【優秀賞】

▼ありがとう 気持ちを伝える あいこは（武藤麗愛・角館小学校6年）

【優良賞】

▼だめなこと自分が一番よくみてる（木村光来・白岩小学校6年）▼その行い、やめさせられるのは自分だけ（堀川若葉・生保内小学校6年）▼「ありがとう」キズナを深める 合言葉（鈴木風愛・神代小学校5年）▼いじめだめ ころのけがはみえないよ（佐藤未唯・角館小学校5年）▼万引きは 家族の笑

顔もとっちゃうよ（浅利美月・松木内小学校6年）

中学校の部 【優秀賞】

▼ネットでも 変わらぬ優しさ 大切に（杉宮結生希・西明寺中学校3年）

【優良賞】

▼大丈夫？ 言葉のナイフ使っていない？（座間心暖・松木内中学校3年）▼気をつけて ボタン1つで 落とし穴（山口海嘉・神代中学校2年）▼「これでいい？」送る前に考えて（千葉穂乃花・西明寺中学校1年）▼思い込み「自分は安全」本当に？（原雪乃・西明寺中学校2年）▼約束を守ってつなぐ 笑顔の輪（大久保結音・生保内中学校3年）▼何げない 会話にひそむモラルの罠（千葉大我・生保内中学校3年）

ネットモラル標語入賞作品

仙北警察署では、今年度ネットモラルモデル校に指定された角館高等学校の学生を対象に、ネットモラルに関する標語募集を行いました。応募作品の中から入賞作品が次のとおり決定しました。

※敬称略

【優秀賞】

▼調子乗り ネットの波にさらわれる（小原里子・2年）

【優良賞】

▼匿名で 安心するな SNS（梅津野乃香・2年）▼困ったら ネットより先に 家族に相談（小松心愛・1年）

仙北市スポーツ協会主催

秋田ノーザン

ハピネット

応援ツアー

12月30日、仙北市スポーツ協会が主催する秋田ノーザンハピネット応援ツアー「Go!ハピネット」が、CNAアリーナ（秋田市）で行われました。

これは、7月15日に開催を予定していた「2023秋田ノーザンハピネットバスケットボールクリニック」が豪雨災害で中止になり、今回招待を受けての実施となりました。市内のバスケットボールスポーツ少年団に所属する児童など約120人が参加。ハピネットのメガホンを持ち一生懸命に応援していました。



参加者で記念撮影。

善意ありがとうございます

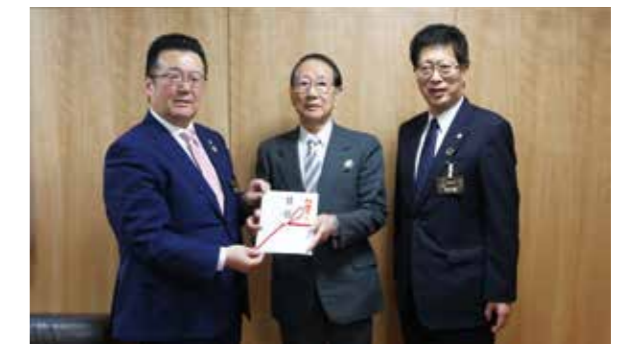
国際ロータリー 第2540地区から 支援金をいただきました

12月14日、国際ロータリー第2540地区から、秋田豪雨災害対策支援金として、寄付をいただきました。
当日は、市役所田沢湖庁舎で贈呈式が行われ、同地区角館ロータリークラブ田口宗弘会長から、田口市長へ目録が手渡されました。
この支援金については、避難所用の防災備蓄品などに充当し、活用させていただきます。



左から、小池澄夫南区ガバナー補佐、田口宗弘角館ロータリークラブ会長、田口市長、佐々木英人田沢湖ロータリークラブ会長、赤上副市長。

桂木会から寄付金を いただきました



須田教育長立ち会いのもと、田口市長へ目録が手渡されました。

桂木会から仙北市育英奨学資金事業に役立ててほしいと、寄付金をいただきました。
この「桂木会」は、昭和32年角館中学校を卒業した同期生で構成するもので、これまで42歳などの歳祝いを重ねてきたそうです。9月25日には、最後の桂木会を開催し、余金の使い道について模索したところ、教育関係に役立ててほしいと決まったそうです。
12月14日には、市役所角館庁舎で贈呈式が行われ、田口市長へ目録が手渡されました。手渡した桂木会の佐藤さんは「少額ですが、同期生の思いですので、お役に立てていただきたい」と話しました。

株式会社バスクリンより 書籍を寄贈いただきました

このたび、株式会社バスクリン（三枚堂正悟・代表取締役社長／仙北市観光大使）より、書籍2冊を寄贈いただきました。
同社と締結をしている包括連携協定にもとづき、入浴関連の情報や研究成果を掲載した書籍を市民の皆さまに役立ててほしいとの思いから今回の寄贈に至りました。
寄贈いただいたのは「最高のパフォーマンスを引き出すフーライフ」。日本の入浴文化をリードしてきた同社の中でもお風呂を誰よりも知りつくすスペシャリストで構成される「チームお風呂博士」の皆さんが、ビジネスマンに向けてお風呂の魅力を研究データを交えながら紹介しています。お風呂の歴史をはじめ、健康効果や効果的な入浴方法、さらにはお風呂時間を楽しむアイデアなど、ビジネスマンだけではなく誰でも普段の入浴の参考になる内容となっています。



寄贈本は、学習資料館と田沢湖図書館へ設置します。また、田沢湖図書館では、2月1日～28日まで寄贈本とともに、同社よりパネルや入浴剤の原料などを提供いただき入浴に関する展示「フーライフ！展」を開催します。ぜひ、足をお運びください。

善意ありがとうございます

国際ソロプチミスト大曲から 児童図書を送りました



12月19日、国際ソロプチミスト大曲より、仙北市の放課後児童クラブに、ことわざ辞典やインソップどっわなどの児童図書を寄贈いただきました。
当日、市役所角館庁舎で贈呈式が行われ、同団体の三輪満寿子会長から田口市長へ目録が手渡されました。
同団体からは、平成30年6月、令和4年9月にも児童図書を寄贈いただいております、今回で3度目となります。寄贈いただいた児童図書は、各児童クラブで有効に活用させていただきます。

アステリア株式会社から 企業版ふるさと納税による 寄付金目録をいただきました

12月27日、市役所田沢湖庁舎で仙北市とアステリア株式会社（東京都・平野洋一郎代表取締役社長）との共同記者会見を行いました。
同社は、ソフトウェア製品の開発を行う企業で、平成28年に仙北市と桜の保全活動に関する協定を結ばれました。
また、今後の展開として、生成AIアプリケーション「ChatGPT」の職員向け活用力向上プログラムの実施、同社社員による仙北市内でのワークショップなど、連携した今後の取り組みが発表されました。



西明寺小学校6年生から JA秋田おばこを通じて 寄付金をいただきました

12月18日、西明寺小学校6年生からJA秋田おばこを通じて、災害援助に役立ててほしいと仙北市に寄付金が贈呈されました。
この取り組みは、JA秋田おばこ仙北市営農センターと西明寺小学校が連携した食育事業として、平成23年から行われています。西明寺農友会の協賛、佐藤一也さんのほ場をお借りして、6年生21人がネギの定植作業から収穫、販売まで一連の農業を体験しています。収穫したネギは、仙北市産業祭で販売し、その代金が寄付金として贈られました。
当日、校長室で児童代表からJA秋田おばこの田口代表理事専務に寄付金が贈られ、その後、市役所田沢湖庁舎で同齊藤武志代表理事組合長から田口市長へ贈呈されました。

